

平成 2 1 年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ダイズ・ハスモンヨトウ (No. 3)

平成 2 1 年 9 月 1 6 日
鳥取県病害虫防除所

情報の内容

9 月 1 4 ~ 1 5 日に行った県内巡回調査の結果、東 ~ 中部の平坦部を中心に、ハスモンヨトウに激しく食害されているほ場が点在している。今後、1 0 月初旬まで幼虫の食害が続くと予想されるので、現在、幼虫の食害が多いほ場では発生状況に注意が必要である。

1 発生状況

- (1) 9 月 1 5 日現在、巡回調査定点における発生ほ場率は 9 2 . 4 % (平年 : 8 9 . 6 %)、1 a 当たりの平均白変か所数は 4 . 6 か所 (平年 : 3 . 0 か所) で、平年に比べてやや多い。
- (2) 東 ~ 中部の平坦部において、激しく食害されているほ場が点在している。一方、中間 ~ 山間地での発生は平年並である。
- (3) 発生の主体は、若 ~ 中齢幼虫であり、新たな白変葉が再び発生している。したがって、1 0 月初旬頃まで幼虫の食害が続くと予想される。
- (4) 7 月 ~ 9 月第 2 半旬までの、フェロモントラップにおける雄成虫の総誘殺数は、鳥取市では平年に比べてやや多く、湯梨浜町では平年並である。

2 防除上注意すべき事項

- (1) 幼虫の食害が多いほ場では、発生状況をよく観察し、現在、幼虫の発生が多い場合は防除を行う。
- (2) 薬剤は、ロムダン粉剤 D L、ミミックジョーカー粉剤 D L、ラービンフロアブル、マトリックフロアブルなどを散布する。